【和田支部　住民説明会　地区１】

宿毛市市街地における河川・海岸堤防の地震津波対策説明会　議事メモ

日　時：平成27年8月22日（土）19：00～20：00

場　所：和田集会所

出席者：地区　18名

○県宿毛事務所より説明（別添資料）

【資料１】宿毛市市街地における河川・海岸堤防の地震津波対策（L2津波シミュレーション含む）

【資料２】松田川堤防の地震・津波対策

【資料３】海岸堤防の地震・津波対策

○質疑応答

Ｑ1：松田川橋～東宿毛駅にかけて、80ｃｍ～１ｍ弱沈下すると説明では言っていましたが、和田地域を守る堤防はどのように考えているのですか？

県 ：宿毛市街地はだいたい2ｍ程度、和田地域も沈下しますが、既存の堤防が高いためボーリング結果を用いた解析の結果、沈下しても東宿毛駅上流は安政・宝永クラスの津波では現堤防を越えないため、対策は行いません。事後の復旧で対応することとなります。

Ｑ2：2ｍ40ｃｍ沈下するという予測は誰が決めたのですか。

県 ：内閣府の中央防災会議において、最大で2.4m地盤沈降すると公表されており、あくまで想定です。

Ｑ3：左岸側をボーリングした結果で液状化はしないのですか？また、堤防は本当に崩壊しないのですか？

　　 地震を受けた後に津波がくるが壊れませんか？

県 ：液状化はしますし、堤防も多少壊れますが、津波が越えてくることはありません。解析で堤防がどのように変動するかも検討しています。

Ｑ4：松田川と稗田川の合流部分、カーブしたところに津波が遡上しぶつかった時、津波は超えないのですか？

県 ：検討の結果、津波は堤防を越えません。

Ｑ5：旧宿毛大橋は地震が起きても壊れないのですか？

県 ：道路事業であるため、耐震化されているか把握していません。

Ｑ6：地震時の山崩れの想定はしていないのですか？

県 ：地震時は行っていません。土砂災害危険区域の想定は行っています。

Ｑ7：宝永地震の津波高さとはだいたいどのくらいですか？

県 ：大島にあるハイタカ神社の上から２段、３段めくらいまで、宝永地震時に津波がきたとの記録が宿毛市史に記載されています。だいたいTP+10ｍ程度です。

Ｑ8：下流堤防を対策して補強すると、当然下流堤防は壊れることなく機能すると思いますが、上流は対策しないので、地震が発生すると液状化して堤防の機能は劣り堤防が破壊されると思いますが、なにも対策しないのですか。（和田地区側が弱くなるため、和田側が壊れないか？）

県 ：液状化して多少堤防は崩壊しますが、解析の結果、L1津波に対して堤防を越えることはありません。地震後に復旧することとなります。